

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です  
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	DKd
診療科名	血液・腫瘍内科
診療科責任者名	末永 孝生
適応がん種	再発又は難治性の多発性骨髄腫
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	MM-030
登録日・更新日	2021年6月21日
削除日	
出典	Lancet. 2020 Jul 18;396(10245):186-197. ダラキュール適正使用ガイド
入力者	湯山 聡

投与順に記入(抗がん剤のみ)

1サイクル						
薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名) 希釈液	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日	
No.1 カルフィルゾミブ (カイトロリス点滴静注用) ブドウ糖液5%	10.40 mg 100 mL	20 mg/m <sup>2</sup> *1	□IV ■DIV □CVポート □側管 □その他( )	30分	Day1,2	
No.2 カルフィルゾミブ (カイトロリス点滴静注用) ブドウ糖液5%	10.40 mg 100 mL	56 mg/m <sup>2</sup> *1	□IV ■DIV □CVポート □側管 □その他( )	30分	Day8,9,15,16	
No.3 ダラツムマブ・ボルヒアルロニダーゼ アルファ(遺伝子組換え) (ダラキュール配合皮下注)	1800mg/30000 単位	1800 mg/body 30000 単位/body	□IV □DIV □CVポート □側管 ■その他(皮下)	3~5分	Day1,8,15,22	
No.4 デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム (デキサート注射液)	1.65, 6.6 mg	20 mg/body	□IV ■DIV □CVポート □側管 □その他( )	30分	Day1,2,8,9,15,16	
No.5 デキサメタゾン (レナデックス錠)	4 mg	40 mg/body	□IV □DIV □CVポート □側管 ■その他(経口)	1回/日	Day22	

2サイクル						
薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名) 希釈液	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日	
No.1 カルフィルゾミブ (カイトロリス点滴静注用) ブドウ糖液5%	10.40 mg 100 mL	56 mg/m <sup>2</sup> *1	□IV ■DIV □CVポート □側管 □その他( )	30分	Day1,2,8,9,15,16	
No.2 ダラツムマブ・ボルヒアルロニダーゼ アルファ(遺伝子組換え) (ダラキュール配合皮下注)	1800mg/30000 単位	1800 mg/body 30000 単位/body	□IV □DIV □CVポート □側管 ■その他(皮下)	3~5分	Day1,8,15,22	
No.3 デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム (デキサート注射液)	1.65, 6.6 mg	20 mg/body	□IV ■DIV □CVポート □側管 □その他( )	30分	Day1,2,8,9,15,16	
No.4 デキサメタゾン (レナデックス錠)	4 mg	40 mg/body	□IV □DIV □CVポート □側管 ■その他(経口)	1回/日	Day22	

3-6サイクル						
薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名) 希釈液	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日	
No.1 カルフィルゾミブ (カイトロリス点滴静注用) ブドウ糖液5%	10.40 mg 100 mL	56 mg/m <sup>2</sup> *1	□IV ■DIV □CVポート □側管 □その他( )	30分	Day1,2,8,9,15,16	
No.2 ダラツムマブ・ボルヒアルロニダーゼ アルファ(遺伝子組換え) (ダラキュール配合皮下注)	1800mg/30000 単位	1800 mg/body 30000 単位/body	□IV □DIV □CVポート □側管 ■その他(皮下)	3~5分	Day1,15	
No.3 デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム (デキサート注射液)	1.65, 6.6 mg	20 mg/body	□IV ■DIV □CVポート □側管 □その他( )	30分	Day1,2,8,9,15,16	
No.4 デキサメタゾン (レナデックス錠)	4 mg	40 mg/body	□IV □DIV □CVポート □側管 ■その他(経口)	1回/日	Day22	

7サイクル以降						
薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名) 希釈液	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日	
No.1 カルフィルゾミブ (カイトロリス点滴静注用) ブドウ糖液5%	10.40 mg 100 mL	56 mg/m <sup>2</sup> *1	□IV ■DIV □CVポート □側管 □その他( )	30分	Day1,2,8,9,15,16	
No.2 ダラツムマブ・ボルヒアルロニダーゼ アルファ(遺伝子組換え) (ダラキュール配合皮下注)	1800mg/30000 単位	1800 mg/body 30000 単位/body	□IV □DIV □CVポート □側管 ■その他(皮下)	3~5分	Day1	
No.3 デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム (デキサート注射液)	1.65, 6.6 mg	20 mg/body	□IV ■DIV □CVポート □側管 □その他( )	30分	Day1,2,8,9,15,16	
No.4 デキサメタゾン (レナデックス錠)	4 mg	40 mg/body	□IV □DIV □CVポート □側管 ■その他(経口)	1回/日	Day22	

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です  
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

1コースの期間	28日																														
投与間隔の短縮規定	□短縮可能(日) ・ ■短縮不可能																														
計算後の投与量上限値	110%																														
計算後の投与量下限値	50%																														
減量・中止基準	<p><b>【開始基準】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好中球数<math>\geq 1,000/mm^3</math>、Hb<math>&gt;8.0g/dL</math>、血小板数<math>\geq 75,000/mm^3</math>(骨髓浸潤がある場合、血小板数<math>\geq 50,000/mm^3</math>)</li> <li>・クレアチニンクリアランス(CrCl)<math>\geq 20 mL/min</math></li> <li>・T-Bil<math>&lt;1.5mg/dL</math>、AST<math>&lt;100U/L</math>、ALT<math>100U/L</math></li> <li>・LVEF<math>\geq 40\%</math>、補正QT間隔<math>\leq 0.470</math>秒</li> <li>・最適な治療にもかかわらず、コントロール不良な高血圧(平均収縮期血圧<math>&gt;159mmHg</math>または平均拡張期血圧<math>&gt;99mmHg</math>)がないこと</li> </ul> <p><b>【減量・中止基準】</b></p> <p>&lt;カルフィルゾミブ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出血を伴わない血小板数<math>1\sim 3</math>万/<math>\mu L</math>: 休薬。血小板数<math>&gt;3</math>万/<math>\mu L</math>に回復したら、同じ用量で再開できる。</li> <li>・血小板数<math>&lt;1</math>万/<math>\mu L</math>: 休薬。血小板数<math>&gt;3</math>万/<math>\mu L</math>に回復したら、一段階減量して再開できる。</li> <li>・好中球数<math>&lt;500/mm^3</math>: 休薬。好中球数<math>\geq 500/mm^3</math>に回復したら、一段階減量して再開できる。</li> <li>・クレアチニンクリアランス(CrCl)<math>&lt;15 mL/min</math>: 休薬する。CrCl<math>\geq 15 mL/min</math>に回復したら、同じ用量で再開できる。</li> <li>・ベースライン時に慢性肝機能障害(軽度、中等度)[2回の連続した測定値(間隔28日間以上)]において、1)総ビリルビン(直接ビリルビン<math>&gt;33\%</math>):<math>1.0\sim 3.0mg/dL</math>、2)AST、ALTまたはその両方の増加かつビリルビン正常値のいずれかを満たす場合]: 25%減量</li> </ul> <p>&lt;ダラツムマブ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Grade3のinfusion reaction(3回発現): 投与を中止すること。</li> <li>・Grade 4のinfusion reaction: 投与を中止すること。</li> </ul> <p>&lt;デキサメタゾン&gt;</p> <p>75歳以上、1サイクル目はDay1、2、8、15、22に20mg、Day9、16に8mgを、2サイクル目はDay1、8、15、22に20mgを、3~6サイクル目はDay1、15、22に20mg、Day8に12mg、Day9に8mg、7サイクル目以降は、Day1、22に20mg、Day8、15に12mg、Day9、16に8mgを投与。</p> <p>◆カイプロリスの用量調節の目安</p> <table border="0"> <tr> <td>副作用発現時の投与量: 56mg/m<sup>2</sup></td> <td>→</td> <td>投与再開時の投与量: 45mg/m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>副作用発現時の投与量: 45mg/m<sup>2</sup></td> <td>→</td> <td>投与再開時の投与量: 36mg/m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>副作用発現時の投与量: 36mg/m<sup>2</sup></td> <td>→</td> <td>投与再開時の投与量: 27mg/m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>副作用発現時の投与量: 27mg/m<sup>2</sup></td> <td>→</td> <td>投与再開時の投与量: 20mg/m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>副作用発現時の投与量: 20mg/m<sup>2</sup></td> <td>→</td> <td>投与再開時の投与量: 投与中止</td> </tr> </table> <p>◆デキサメタゾンの用量調節の目安</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td>75歳以下</td> <td>75歳超</td> </tr> <tr> <td></td> <td>40 mg</td> <td>20mg</td> </tr> <tr> <td>1段階目</td> <td>20 mg</td> <td>12mg</td> </tr> <tr> <td>2段階目</td> <td>12 mg</td> <td>8mg</td> </tr> <tr> <td>3段階目</td> <td>8mg</td> <td>-</td> </tr> </table>	副作用発現時の投与量: 56mg/m <sup>2</sup>	→	投与再開時の投与量: 45mg/m <sup>2</sup>	副作用発現時の投与量: 45mg/m <sup>2</sup>	→	投与再開時の投与量: 36mg/m <sup>2</sup>	副作用発現時の投与量: 36mg/m <sup>2</sup>	→	投与再開時の投与量: 27mg/m <sup>2</sup>	副作用発現時の投与量: 27mg/m <sup>2</sup>	→	投与再開時の投与量: 20mg/m <sup>2</sup>	副作用発現時の投与量: 20mg/m <sup>2</sup>	→	投与再開時の投与量: 投与中止		75歳以下	75歳超		40 mg	20mg	1段階目	20 mg	12mg	2段階目	12 mg	8mg	3段階目	8mg	-
副作用発現時の投与量: 56mg/m <sup>2</sup>	→	投与再開時の投与量: 45mg/m <sup>2</sup>																													
副作用発現時の投与量: 45mg/m <sup>2</sup>	→	投与再開時の投与量: 36mg/m <sup>2</sup>																													
副作用発現時の投与量: 36mg/m <sup>2</sup>	→	投与再開時の投与量: 27mg/m <sup>2</sup>																													
副作用発現時の投与量: 27mg/m <sup>2</sup>	→	投与再開時の投与量: 20mg/m <sup>2</sup>																													
副作用発現時の投与量: 20mg/m <sup>2</sup>	→	投与再開時の投与量: 投与中止																													
	75歳以下	75歳超																													
	40 mg	20mg																													
1段階目	20 mg	12mg																													
2段階目	12 mg	8mg																													
3段階目	8mg	-																													
前投薬	<p>Infusion Reaction予防: デキサメタゾン20mg+アセトアミノフェン500mg+ジフェンヒドラミン20~30mg(±モンテルカスト10mg: 1サイクル目 Day1)</p>																														
その他の注意事項	<p>*1 体表面積が<math>2.2m^2</math>を超える患者では、体表面積<math>2.2m^2</math>として投与量を算出すること。 透析を要する場合には、用量として20mg/m<sup>2</sup>を超えないこととし、また透析後に投与すること。</p> <p>・治療開始前と治療開始後に心電図、心エコーによる心機能評価を行い、治療開始後の心機能評価は少なくとも投与開始4週まで1回は実施する。 ・帯状疱疹の予防として、アンクロピル又はバラシクロピルおよび抗生剤(ST合剤等)を投与する。</p> <p>注射剤の調製方法 カイプロリスは、10mg製剤の場合は5mL、40mg製剤の場合は20mLの注射用水で溶解して2mg/mLの濃度とした後、体表面積から計算した必要量を5%ブドウ糖液にて希釈すること</p>																														

記入者	満山 聡
確認者	寺尾 俊紀